

2024年度 授業改善推進プラン(全体計画)

学校経営方針(学力向上に関わる要点)
<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の向上(学ぶ喜びを感じる指導の継続、地域との交流学习) ・「つくし野スタンダード」で学習規律の周知徹底 ・学習習慣の育成(「はい」「めあてと振り返り」「根拠をもつ」) ・学び方の習得(課題設定、探究活動、表現 等) ・年間指導計画に基づいた授業の実践

授業改善の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・学びの基本を「学ぶ意欲」と捉え、「できた」「わかった」という学ぶ喜びを感じる指導を継続する。 ・授業をデザインする力を高める。(導入、振り返り、板書など) ・「はい」「めあてと振り返り」「根拠をもつ」など授業での学習習慣を育成する。 ・体験活動や協同的活動の中に言語活動を組み込み、思考・判断・表現力を高める。 ・教員による授業公開と相互評価を行い、授業を振り返り、改善する力を高める。

各教科の指導の重点	国語科	音楽科	総合的な学習の時間の指導の重点	特別の教科 道徳の指導の重点		
	社会科	図画工作科				
	算数科	家庭科			特別活動の指導の重点	外国語活動(3・4年)の指導の重点
	理科	体育科				
	生活科	外国語科(5・6年生)				

本校の授業改善に向けて	ICT機器の活用	見通しをもたせる導入	振り返りの設定
	<ul style="list-style-type: none"> ・映像、画像などの視覚教材で手順や見本を示し、より多くの児童が意欲的に授業に参加できるようにする。 ・発達段階に応じたChromebookの活用を行い、児童の学習に生かす。 ・本時のねらいを達成するための有効な手段の一つとして、ICT機器の活用の仕方を探り、授業実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、「めあて」を提示することで、児童がめあてをもって学習に取り組む姿勢を習慣化させる。また、何を学ぶか、どのように学ぶかなど、見通しをもたせる。 ・授業の導入部分にICT機器を活用するなどして、課題の提示を工夫することで、児童の学習への興味、関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の終末に「振り返り」の時間を設けることにより、児童がその時間を振り返り、学習内容を定着させる。 ・単元のゴールを設定することで、児童がその時間にやるべきことを明確にして授業に取り組めるようにする。